

平成30年度「環境賞」に5件

平成30年度「環境賞」(国立環境研究所・日刊工業新聞社主催、環境省後援)の受賞者が決まった。創設から45回を数える今回は、環境保全や環境の質の向上に貢献が認められる技術や製

品の開発など39件の応募があり、「環境大臣賞」「優秀賞」「優良賞」の計5件が選ばれた。受賞したテーマと企業名(代表者)は以下の通り。

(1面参照)

環境大臣賞

「鉛・PCB廃棄物を削減する循環式ブラスト塗膜除去」 ヤマダイインフラテクノス

優秀賞

「ガスセンサー制御硫化物法による金属廃液・污泥処理」 アクアテック

「新規分解菌による1,4-ジオキサン等を含む排水処理」 大成建設

優良賞

「廃タイヤ等の異素材混合物を削ぎ取る破碎・分離技術」 エムダイヤ

微妙に傾けた回転刃で廃タイヤや光ケーブル、電子基板などさまざまな産業廃棄物を削ぎ取るようにして破碎し金属を分離できる。従来は破碎機を何台も連結させ、破碎と分離を繰り返すのが一般的だったが、設備導入や運転

コストがユーザーの大きな負担になっていた。本件は1台の機械で破碎と分離を可能にした。太さの異なるワイヤを含んだ廃タイヤでも回転刃で引っかき、外側のゴムだけ削ぎ落とし、内部のワイヤをきれいな状態に取り出せる。

「下水熱利用と老朽管補修を両立する技術」 東亜グラウト工業

TYPE OF INDUSTRY

素材・ヘルスケア・環境

「環境賞」決まる

平成30年度「環境賞」の受賞者が決定し、環境大臣賞にヤマダイインフラテクノスの「鉛・PCB廃棄物を削減する循環式ブラスト塗膜除去」が輝きました。このほか優秀賞2件、優良賞2件の計5件が決定しました。(14面に詳細)

国立環境研究所/日刊工業新聞社

www.nikkan.co.jp

日刊
THE NIKKAN
工業
KOGYO SHIMBUN
新聞

5月18日 金曜日

2018年(平成30年)